

2007 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">障害児心理学 I</p>	<p>対象学科・学年</p> <p>文学部全学科 2 回生 教育教職 2 回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">和田野 康子</p>
<p>授業テーマ</p> <p>視覚障害児、聴覚障害児、知的障害児、肢体不自由児など、障害種別にみた子どもの発達や心理的諸活動の特徴</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由など、それぞれの障害が、知覚・学習・思考・感情・意欲・人格など、種々のレベルの心理活動とどういう関係をもち、発達にどのような影響をもたらすかを、障害別に明らかにしていく。更に、そのような障害をもつ子どもたちに対して、どのような教育的配慮が必要かについても考える。</p>		
<p>評価方法</p> <p>主として期末試験によるが、たまに授業の中で課すレポート等も補助的資料として評価の対象とする。</p>		
<p>テキスト</p> <p>障害特性の理解と発達援助</p>	<p>著者</p> <p>鼻地勝人 他</p>	<p>出版社</p> <p>ナカニシヤ出版</p>
<p>参考書</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 障害児心理学の意義と目的 <ul style="list-style-type: none"> 障害の定義 障害の種類 障害観 2. 障害児のための心理検査 3. 障害の原因 4. 視覚障害の心理 (その1) 5. 視覚障害の心理 (その2) 6. 聴覚障害の心理 (その1) 7. 聴覚障害の心理 (その2) 8. 知的障害の心理 (その1) 9. 知的障害の心理 (その2) 10. 肢体不自由の心理 (その1) 11. 肢体不自由の心理 (その2) 12. 重度重複障害の心理 (その1) 13. 重度重複障害の心理 (その2) 14. 病・虚弱児の心理 15. 障害児への援助 (ハイリスク児を中心に) 		